1　E版　第26513号　（昭和27年5月1日第三種郵便物認可）　中日新聞　（夕刊）　2016年（平成28年）8月6日

# 平和の火 広島とリオから

## 原爆の日 71年

## 「核なき世界へ連帯を」

原爆慰霊碑の前で犠牲者の冥福を祈る人たち＝6日午前6時46分、広島市の平和記念公園で（中森康弘撮影）

広島は六日、原爆投下から七十一年の「原爆の日」を迎えた。広島市中区の平和記念公園で午前八時から「原爆死没者慰霊式・平和祈念式」（平和記念式典）が営まれた。松井一実市長は平和宣言で、核兵器の廃絶に向け「さらなる行動」を呼び掛けた。＝平和宣言全文など③面、関連⑥面

オバマ米大統領が現職として初めて広島を五月に訪問した後、最初の原爆の日となり、平和宣言は、オバマ氏の広島での演説から「核兵器のない世界を追求する勇気を持たなければならない」との一節を引用した。核兵器廃絶に向けた行動理念として、「情熱」と「連帯」を提示し、各国の指導者に、信頼と対話による安全保障の仕組みを作りあげることを期待する」と呼び掛けた。

式典のあいさつで安倍首相は、昨年の広島の式典では触れなかった「非核三原則の堅持」に言及したが、核廃絶については「唯一の戦争被爆国として、核拡散防止条約（NPT）の維持および強化の重要性を訴える」と述べるにとどめた。

また、オバマ氏に同行した「核兵器のない世界を必ず実現する」と表明した安倍晋三首相は「オバマ氏と共にリーダーシップを発揮する」と述べるにとどめた。

式典では、この一年間にたくさんの死亡が確認された原爆死没者の名前が書かれた原爆死没者名簿を原爆慰霊碑に納めた。これまで記帳された被爆死没者の総数は計二十万三千百九十五人となった。

九十一カ国と欧州連合（EU）の代表が参列。核兵器保有国は米英仏ロの代表が出席し、中国は欠席した。米国のケネディ駐日大使は欠席し、臨時代理大使が出席。

広島市によると、参列者は約五万人。遺族代表の二〇一六年三月末時点で十七万四千八十人、平均年齢は八〇・八六歳となった。

の午前八時十五分に黙とうした。広島市内の小学生から選ばれた子ども代表の小学六年、青木優太さん（二）と中奥瑞穂さん（八）が「平和への誓い」を宣言した。

潘基文国連事務総長が「核保有国は、ヒロシマの悲劇を繰り返さない特別な責務を負っている」とメッセージを送った。田上富久長崎市長も出席した。

日本原水爆被害者団体協議会（被団協）が結成六十年を迎える今年、被爆者健康手帳を持つ全国の被爆者は二〇一六年三月末時点で十七万四千八十人、平均年齢は八〇・八六歳となった。

## 各国要人に手紙　被爆女性 思い実る

## オバマ氏訪問 やっと出発点

原爆で街が一瞬で消えた広島への訪問を求めて、各国要人に手紙を送るなどしてきた被爆女性がいる。長年の思いが通じ、オバマ米大統領の被爆地訪問が初めて実現。平和への誓いを新たに慰霊の日を迎えた。

「行ってきまーす」。一九四五年八月六日の朝、四歳年上の姉の弾んだ声が最後の別れになった。

広島平和記念資料館（広島市中区）で被爆体験の語り部をする岡田恵美子さん（七）＝広島市東区＝は当時八歳。姉を見送り、爆心地から約二・八キロ離れた自宅で、朝食中に被爆した。

姉の美重子さん＝当時（二）＝は空襲時の延焼拡大に備えて家屋を取り壊す、大規模な「建物疎開」の作業に駆り出された。爆心地の方向へ向かったという。

同様の作業に動員され、死亡した生徒は約五千九百人に上るとされる。「一瞬で多くの命が消えた。姉も何の手掛かりもない」と無念さをにじませる。

岡田さん自身も、原爆の衝撃で吹き飛ばされた。全身にガラス片を浴びて血だらけの母に連れられ、自宅近くの練兵場に避難した。顔が裂けてザクロのようになった人、防火水槽に頭を突っ込み亡くなっている人、柱に挟まれて身動きできないまま、炎に包まれていく少女もいた。「思い出すのもつらい」と涙ぐむ。

義姉妹者の死を無駄にしたくないと、五十歳から被爆体験の証言を国内外で始めた。しかし、原爆を投下した側の米国などの反応は鈍い。「耳を傾けてもらうには、各国要人に被爆の実相を理解してもらわなければ」との思いが募った。

二〇〇八年の北海道洞爺湖サミットで、参加予定の各国首脳に「広島を訪れてほしい」と手紙を送った。〇九年、米ニューヨークの国連本部であった平和市長会議の会合に招かれた際は、同行した当時小学六年の孫娘が、オバマ米大統領とその二人の娘に宛て手紙を書いた。「米国から日本で会えるというお返事を待っています」。七年後、大統領は広島へやってきた。

岡田さんは今年七月、身元不明の原爆死没者をまつる原爆供養塔（広島市中区）を訪れ、美重子さんに語りかけた。「大統領がようやく来てくれたよ。でもまだ、核兵器は無くなってない。訪問を最後じゃなく、ヒロシマで何があったかを知ってもらうためのスタートにしなきゃね」

（宮畑譲一郎）

平和記念公園でオバマ米大統領の広島訪問の意義を語る岡田恵美子さん